

第 64 回 大阪市廃棄物減量等推進審議会 会議要旨

1 日 時 令和元年 9 月 10 日（火）14 時 00 分から 16 時 00 分まで

2 場 所 大阪市環境局 第 1・2 会議室

3 出席者

（委 員）

福岡会長、水谷副会長、足立委員、石村委員、後藤委員、斎藤委員、柴田委員、清水委員、福井委員

（大阪市）

青野環境局長、高橋環境局理事兼エネルギー政策室長、深津事業部長、池田企画課長、西尾事業管理課長、宮崎家庭ごみ減量課長、城戸一般廃棄物指導課長、川戸企画課長代理（司会）

（大阪市・八尾市・松原市環境施設組合）

蓑田事務局長、樺田施設部長

4 議 題 ・大阪市一般廃棄物処理基本計画の中間見直しについて
・その他

5 議事要旨

（1） 大阪市から、平成 30 年度のごみ処理量等の報告及び一般廃棄物処理基本計画の中間見直しに係る検討事項について説明があった。

（2） 委員からの意見等概要

ア 食品ロスを減らすため、大阪市には、市民に対して「消費期限」「賞味期限」について広く周知し、1/3 ルールがなくなるよう協力してもらいたい。

イ 雑紙も古紙として回収していること等、市民に対してもう少し力を入れて周知すべきである。

ウ 家庭のごみがスーパーや公共施設のごみ箱に入れられているような問題が起こっており、分別啓発やマナー違反に対する行政の対策が必要である。同様に民泊事業者やインバウンドに対する取組についてもお願いしたい。

エ 産業廃棄物の一般廃棄物への混入については、行政としてしっかりとした対策が必要である。また、業種別の排出状況を確認したうえでの対策も必要である。

オ 災害ごみについて、今からでも検討を始めていくべきである。また、今ある災害廃棄物処理計画を一般廃棄物処理計画にも災害の観点から何か取り込むことができないか。

カ 食品ロスについて、広く好事例を募集し、それらを効果的に紹介する取組、また、大学と連携した取組を検討するのはどうか。

（3） 大阪市の意見概要

食品ロス対策をはじめとするごみ減量の取組みについて、いただいた意見を踏まえながら推進していく。

中間見直しの方向性としては概ね了承いただけたため、本日の議論内容を踏まえて見直しを行っていく。計画策定の際、市民の意見を公募する。

6 会議資料
第 64 回大阪市廃棄物減量等推進審議会資料